

即時避難指示対象区域：

「レベル4土砂災害危険警報」の発表に加え、「気象庁キキクル（危険度分布）（外部サイト）」により災害の切迫度が高まっていることを確認した場合に避難指示を発令する区域
平成27年1月から地質の専門家が実施した崖地の調査結果を踏まえて、崖くずれが発生した場合に、人家に著しい被害を及ぼす可能性がある崖地を抽出し、その周辺を避難指示対象区域として選定した。

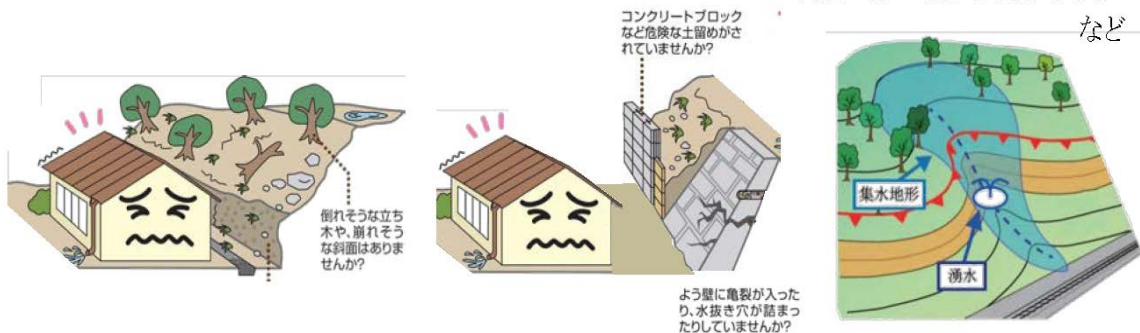
[参考：即時避難指示対象区域の選定基準]

崖崩れが発生した場合に、崖に近い建物の損壊や、窓ガラスから土砂が流入するなどの被害が生じ、場合によっては人的被害が生じることが想定される区域を選定しています。

- ① 崖崩れの要因※¹、崖が崩れた場合の土砂の量※²、崖に近接する建物への被害の大きさ※³などを分析
- ② 崖崩れが発生した場合に被害が生じるおそれのある人家の有無や、崖地と建物の距離などを確認
- ③ 崖地の高さや勾配などによって、崖崩れの影響を受ける範囲をさらに細かく設定し、それぞれの影響範囲内に人家があるかどうかを確認

※1 崖崩れの要因

- ・地盤が弱く、斜面勾配が急である
- ・擁壁に亀裂が入っている
- ・斜面から湧水が出ている
- ・斜面の水が集まる地形である



※2 崖が崩れた場合の土砂の量

崖崩れが発生した場合に斜面から滑り落ちたり、塊で落ちてくる土の量の大小で分類

※3 崖に近接する建物への被害の大きさ

崖崩れが発生した場合、崩れてきた土砂などが人家に到達するかどうかを被害の大小で分類